

議 事 録

| | | | |
|------|--|------|----|
| 会議名 | 文書館運営審議会 | | |
| 日 時 | 令和6年7月4日(木)10:00～12:00 | 開催形態 | 公開 |
| 場 所 | 寒川総合図書館会議室 | | |
| 出席者 | 河村委員、内海委員、小川委員、中西委員、名取委員 事務局：伊藤館長、平尾主査、高木主任主事 傍聴者：1名 | | |
| 議 題 | 開会 1 議事録承認委員の指名 2 報告 (1)令和5年度寒川文書館事業結果報告【資料1】 (2)令和6年度寒川文書館事業中間報告【資料2】 3 その他 | | |
| 決定事項 | ・議事録承認委員には河村委員が指名された。 ・令和5年度の事業結果報告、令和6年度の事業中間報告について質疑があり、了承された。 | | |
| 議 事 | <p>*会議の冒頭、事務局より、委員の交代について報告した。寒川町立小中学校校長会から選出の委員が、毛藤まゆみ委員から、河村卓丸委員に交代した。任期は残任期間の令和7年6月28日まで。</p> <p>1 承認委員の指名について 議事録承認委員は名簿順に従い、河村委員が選出された。</p> <p>2 報告 (1) 令和5年度寒川文書館事業結果報告について 令和5年度事業について、事務局より結果報告をした。これに対し、次のような質疑があった。</p> <p>（委員） 図書館・文書館体験ツアーで業務体験とあるが、どのような体験をしてもらったのか。</p> <p>（事務局） 文書館ではマイクロフィルムの巻き直し作業をしてもらった。フィルム自体を知</p> | | |

らない子が多いので、印象深い体験となったようだ。

(委員)

事業結果には、実施した内容を可能な限り明記してほしい。教員研修で話したテーマは何かとか、回想サロンにどのような受講者が来たのかとか、知りたい情報が多々ある。あまり詳しすぎると年報の範囲を超えてしまうが、差し支えない範囲で加筆をお願いしたい。

(事務局)

体験ツアーや図書館まつりなど、強調したい項目もあるので、その部分を中心に加筆を検討したい。

(委員)

西暦の補足や、文字の全角・半角など、不統一な箇所が見受けられる。

(事務局)

よく見直し、年報に反映させていく。

(委員)

特別利用の項で、東浦和図書館に図書を貸し出したという記載があった。この経緯を教えてほしい。

(事務局)

文書館の行政刊行物や図書は図書館の OPAC に登録しており、インターネットを通じて誰もが検索できるようになっている。さいたま市在住の方がこれを見て、個人で利用しようと近くの図書館を通じて閲覧の希望を出した。神奈川県内の図書館の場合は県立図書館を中心にしたネットワークで相互貸借が可能だが、県外の図書館は対象外なので、文書館の特別利用申請を使って、先方での館内利用を条件に貸し出した。

(委員)

可能であれば、貸し出した経緯も付記してほしい。

(委員)

学校連携の欄。() 内に記された数字が、学年であったり人数であったりと不統一である。また県立高校の校名が書いてあったりなかったりで、これも統一されていない。何か理由はあるのか。

(事務局)

学年は() の外に出すよう、表記を改める。県立高校のインターンのうち、8月1日・2日の分は寒川高校だけなので校名を記したが、11日の分は3校の合同だったので明示しなかった。教員研修については校名を出して差し支えないか精

査する。もろもろのご指摘をいただいたとおり、整理して修正したい。

(委員)

「地域資料の収集と整理」の項をみると、新しい資料がどんどん入ってきていることがわかるが、その事実が利用者に伝わる機会があまり多くないと感じる。せっかく貴重なものが館蔵資料となったのであるから、そのまま収蔵庫に入るだけではあまりにもったいない。新着資料展を行うとか、新着のコーナーを設けるとか、何か対策を検討してほしい。期間を定めて定期的にそのような催しをすると良いと思う。

(委員)

報告にある資料群の一覧だけでは、どのような資料なのかが具体的にはわからないので、新着資料をPRする機会を設けるという提案に賛成だ。

(事務局)

新しい資料を受け入れると、目録を作成し公開対象としていくので、決して死蔵ではない。しかしご提案の新着資料を何らかの形で紹介するというのは良い試みだと思うので検討したい。

(委員)

図書館・文書館体験ツアーは、図書館だけでなく文書館にも興味をもってもらい小中学生を増やす意味で良い試みだと思うが、文書館として何を期待しているのか、改めて伺いたい。

(事務局)

このツアーは図書館が募集や運営の事務を行い、文書館が協力する形をとっている。しかし短い時間ではあるものの、文書館の役割や図書館との違いについてアピールする機会になっていると思う。

(委員)

図書館との違いを見せる方法として、マイクロフィルムの巻き替えも一つの方法だが、他にもいろいろなことが考えられる。低学年の子が多く集まった場合、高学年の子が多い場合など、いくつかのオプションを考えておき、文書館の役割を伝えていく必要があるのではないかと。学校の先生とも協力して、その点が充実できれば良いと思う。

(事務局)

図書館との違いを伝えることは常に意識している。収蔵庫を案内し、原資料を見てもうすることは必ず行っている。小学生では古文書の整理まではできないが、手を洗って原資料を触ってもらうとか、五感に訴えるようなことまでは実施してきた。ただ、低学年の子も高学年の子も一緒に案内するので、対応の難しさはある。

そのため、ご指摘のとおりいろいろなオプションを考えていきたい。

(2) 令和6年度寒川文書館事業中間報告について

令和6年度の事業について事務局より説明したところ、次の質疑があった。

(委員)

資料2は、1ページ目の表と2～7ページの本文に分かれているが、両者はどのような関係で、どのように議論を進めたらよいか。

(事務局)

1ページ目の左欄は事業計画。右欄はそれに対応して実施したものや実施予定のものを書き込んでいる。2ページ以降は、6月末現在の実施状況を、結果報告の書式に合わせて示したものである。質疑はどちらからでもお受けする。

(委員)

事業計画の4、資料保存のうち燻蒸について。この問題で職員がTBSラジオのインタビューを受け放送されたので、これはどこか記録にとどめておくが良い。今年のエキヒュームSで実施できたが、製造中止となり来年から使用できなくなる。この対策は検討しているのか。

(事務局)

ラジオについては、年報で反映できるか検討する。燻蒸については、違う薬剤を使うのか、それとも薬剤を使わない環境管理を行うのかなど、選択肢はいろいろあるが、まだ方向性は定まっていない。

(委員)

私の職場では今年初めて、アルプを用いて業者の倉庫に持ち込んで燻蒸をした。

(事務局)

アルプも選択肢の一つなので、情報共有をお願いしたい。

(委員)

資料の表記について。「行う」は「実施する」などなるべく他の言葉に置き換えてほしい。「行って」が「おこなって」でなく「行って」に誤読されるおそれがあるためである。また注記で「●」や「※」が多用されているが、「*」のほうが目立たなくてよいと思う。

(事務局)

今後の表記を検討する。

(委員)

回想サロンについて。高齢者対象の脳トレーニングとあるが、そのような表現は高齢者に対し失礼である。思い出を蘇らせて語っていただくとか、知識を教えていただくとか、謙虚な態度が必要である。こうした表現はどのような背景で使うことになったのか。

(事務局)

寒川総合図書館においては、令和元年(2019)から回想サロンを実施している。ニュース映像を中心に編集した読売新聞社制作の市販DVDを観ながら、当時の思い出を語り合うという催しである。昨年度初めて文書館との共催事業になり、昭和50年代のニュース映像で全国の話題を思い出していただくとともに、同じ頃の寒川の写真を画面に映して、寒川の思い出も語っていただくという企画にした。そもそも回想サロンとは、「回想法」という心理療法を取り入れた事業である。回想法は、昔の思い出や経験を語り合うことが脳の活性化や認知症予防に効果があるとされ、介護現場などで広く使われてきた。「脳トレーニング」という言葉は、この会議の資料を作るにあたって補足説明をするため、一般的な用語説明として引用したものである。しかし、事業の募集チラシには使っていないし、今後も参加者のお気持ちを尊重し、「トレーニング」という言葉は使わないようにしたい。

(委員)

昔のことを語り合うだけでなく、今と比較できるように運営するとよいと思う。自分の小学生のころはこうだったねと話し合うだけでなく、今どきの小学生はこうなのだと情報提供することで、今を生きている高齢者という位置づけが鮮明になるのではないか。

(委員)

写真はどのようなものを使ったのか。

(事務局)

広報主管課から移管された写真を中心に、昭和50年代の風景写真などを25枚ほどを見てもらった。

(委員)

その際、現在の写真と比較できるようにしたのか。

(事務局)

その時に見せたのは古い写真だけであった。たまたま参加者が岡田在住の方ばかりだったので、菅谷神社付近の商店の写真を見ると大いに盛り上がった。次回はご指摘のとおり現況写真も掲げ、現在との対比ができるようにすると、より効果が上がるのではないかと思う。

(委員)

高齢者にただ回想してもらうのではなく、皆さんの記憶や知識を文書館に与えて

いただくという取り組みを、文書館のほうから強くアプローチすべきではないか。これまで町史編さん事業の一環としてさまざまな形でインタビューを行ってきたが、それは江戸時代から代々続く家の方に聞く機会が多かった。しかし、戦後に移り住んできた方々の話を聞くことはほとんどできていないので、この事業がその契機になるとよいと思う。

(委員)

高齢者だけがこの事業の対象になっているが、子どもも交えて世代間の対話をしながら、みんなで寒川地域の過去・現在・未来を共有する新しい語らいの場を設け、そこから出てくる情報をまとめていく。そのような方向性がでると良い。

(委員)

かつて公民館で、学校やPTAにも協力してもらい、地域の地図に情報を自由に書き込んでもらうという事業を企画したことがある。高齢者も子どもも参加してたいへん盛り上がった。

(委員)

高齢者が「昔」というと60年も前のことになるが、小学生が言う「昔」はつい数年前のことである。このギャップが多様性を生んで、さまざまな情報が蓄積され、それが文書館の財産になるとよい。

(委員)

企画展「もっと地域を知ろう！—社会科資料集を素材に—」について詳しく伺いたい。特に「地域」とはどこをさすのか、「社会科資料集」とは何をさすのかを確認したい。

(事務局)

「地域」とは寒川のことである。「社会科資料集」とは、小学校3・4年生が授業で使っている『社会科資料集さむかわ』をさす。これは、寒川の小学校の先生方が独自に執筆・編集しているもので、3年に一度改訂される。この展示は、この資料集を使って子どもたちが寒川のことをどのように学んでいるかを一般の方々にも知ってもらおうと企画した。ただ、行政、産業、防災など内容は多岐にわたっているため、「寒川にのこる古いもの」という章で扱う年中行事と史跡に絞り、詳しく紹介することにした。史跡は学区域ごとに掲げるので、家の近くの身近な歴史を知っていただくことができるし、お子さんがいらっしゃる方なら、家族でこれを話題にしてほしいと考えている。

(委員)

『社会科資料集さむかわ』は寒川の先生方が作り、寒川町教育委員会が発行するものなので、学校側に情報共有があつてしかるべきだ。6月末に校長会が開かれたので、そこで説明してほしいと思った。

(事務局)

教育研究室の指導主事に相談しながら準備を進めてきたが、校長会へのアプローチはまだしていなかった。

(委員)

一般の方々向けの展示とのことだが、この資料集を使っている子どもや教員が、あるいは保護者の皆さんが、資料集の表紙を前面に載せたポスターやチラシを見たら、何が展示されているのだろうと興味を持つはずである。それが文書館へ足を運ぶ動機付けになればよいと思う。そのためにも学校との協力関係は必要である。

(委員)

タイトルは「寒川」をもっと強調したものでもよいと思う。せっかくのご提案なので、それを受けとめていただいてはどうか。

(委員)

事業計画書には「予定」とある。タイトルも日程もまだフレキシブルだと考えて良いのなら、なるべく学校側の考えに沿うように調整してみてはどうか。その余地はあるのか。

(事務局)

タイトルは変えることができる。ご指摘のとおり、「地域」ではなく「寒川」の文字を入れれば、また単に「社会科資料集」とするのではなく実際の書名を入れれば、より具体性を増すので、指導主事にも相談しながら再考したい。会期については7月30日のスタートを目指して準備を進めているが、校長会への手続によっては後ろにずらすことも視野に入れなければならない。校長会の承諾を得ないと開催は難しいのかなど、方向性についてご助言をお願いしたい。

(委員)

承諾は不要である。ただ、アピールするにあたり、突然チラシやポスターが学校に来ると、事前に校長が事情をわかっている対応するのでは、受け止め方に大きな違いがある。次の校長会は9月なので、7月30日に展示を始めるなら、別の方法での周知を検討してほしい。

(委員)

学校との連携の必要性は、この審議会でも議論を重ねてきたことである。今回の展示はそれを実践できる好機なのだから、文書館としても学校側と調整して、積極的に進めてほしい。

(委員)

では、関係部署との日程や周知などの調整をお願いしたい。

(委員)

今回は小学校の副読本を使った展示になるが、中学校の副読本はあるのか。

| | |
|-------------------------------|---|
| | <p>(事務局) 寒川では、中学校で使うものは作られていない。</p> <p>(委員) 学校の先生方と文書館が一緒に取り組みを行うことで、お互いに見えていなかったものが見えてくる可能性が大きい。学校日誌など、学校で持っている資料もたくさんある。これを機に今後の連携をさらに深めてほしい。</p> <p>(委員) 進捗状況など粗々の情報を、われわれ審議会のメンバーにも伝えていただけるとありがたい。</p> <p>(委員) ここで議論したことを受け止めて、文書館として積極的に動き、結果を報告してほしい。</p> <p>(委員) では、関係部署との調整をしっかりと、きちんと実施していただきたい。</p> <p>3 その他</p> <p>なし</p> |
| <p>資 料</p> | <p>資料 1 令和 5 年度寒川文書館事業結果報告 資料 2 令和 6 年度寒川文書館事業中間報告</p> |
| <p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p> | <p>河 村 卓 丸</p> <p>令和 6 年 8 月 9 日 確 定</p> |